

【市立小樽美術館連携ミニ企画展】

新版画に描かれた 北前船の寄港地

会期：10月21日(土)～11月21日(火)

ここ小樽が北前船の寄港地であったことにちなみ、新版画を代表する絵師、川瀬巴水と吉田博が北前船の寄港地を描いた版画5点をご紹介します。これらが制作された昭和初期頃、北前船はすでに衰退の時代を迎えていましたが、在りし日の賑わいを感じさせる港の風景は画家の目に魅力的に映ったようで、情趣豊かな作品の数々が残されています。なお、市立小樽美術館では10月21日より特別展「中村善策と加賀の北前船主・西谷家」が開催されます。また小樽市総合博物館では、北前船に関する資料が常設展示されています。ぜひあわせてご覧ください。

出品リスト

作家名	作品名	制作年
川瀬巴水	日本風景集第一輯 東日本篇 小樽之波止場	昭和8年(1933) 4月
川瀬巴水	旅みやげ第三集 秋田土崎★	昭和3年(1928)
川瀬巴水	旅みやげ第三集 出雲美保ヶ関★	大正13年(1924)
吉田博	瀬戸内海集第二 倉	昭和5年(1930)
吉田博	瀬戸内海集第二 鞆之港	昭和5年(1930)

★…当館初公開作品